# 3ch 入り 75Ωドライバ

# **BA7660F / BA7660FS**

BA7660F、BA7660FS は、6dB アンプ付きの  $75\Omega$  ドライバを 3 回路内蔵しており、コンポジットビデオ信号、コンポジット Y 信号、及び、C 信号、または、RGB 信号を  $75\Omega$  ドライブすることができます。負荷は各々 2 回路駆動する能力があり、さらにサグ補正機能がありますので出力のカップリングコンデンサの容量を小さくできます。

入力電圧範囲が 0V~1.5V となっているため、一般的な D/A コンバータ出力を直接接続することができます。また、3ch 同時ミュート機能と出力端子のショート保護を兼ねたパワーセーブ回路を内蔵しています。

#### ●用途

DVD、セットトップボックス等のデジタル映像機器

#### ●特長

- 1) D/A コンバータ出力と直結可能。
- 2) 低消費電力で動作する。(Typ.115mW)
- 3) 出力ミュート回路内蔵。
- 4) パワーセーブ回路内蔵。
- 5) 出力保護回路内蔵。
- 6) サグ補正回路内蔵で、出力カップリングコンデンサを小容量にできる。
- 7) 負荷を各々2回路駆動可能。
- 8) SSOP-A16pin、SOP16pin フラットパッケージ採用。

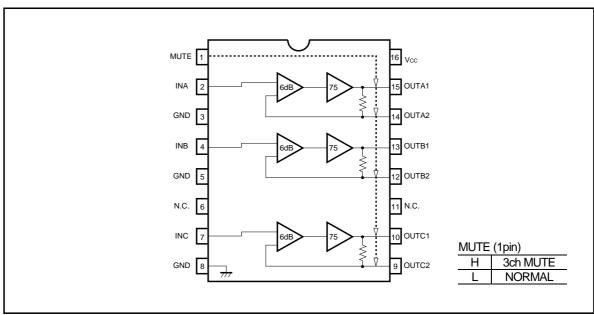
#### ●絶対最大定格 (Ta=25°C)

Parameter	Symbol	Limits	Unit
電源電圧	Vcc	8	V
許容損失	Pd	650	mW
動作温度範囲	Topr	-25~+75	°C
保存温度範囲	Tstg	-55~+125	°C

#### ●推奨動作条件 (Ta=25°C)

Parameter	Symbol	Min.	Тур.	Max.	Unit
動作電源電圧範囲	Vcc	4.5	5.0	5.5	V

# ●ブロックダイアグラム



# ●各端子説明・入出力回路図

Pin. No	端子名	IN	OUT	標準電圧	入出力等価回路図	機能
1	MUTE				15k W W S 8k	ミュートコントロール端子。 MUTE(1pin)を" H "にすると3chと 同時にミュートされます。
2 4 7	INA INB INC					信号入力端子。 入力信号はコンポジットビデオ信号、 Y信号、C信号、R.G.B等です。 また入力信号レベルは、0~1.3( Min. ) 1.5 ( Typ. ) の範囲です。
3 5 8	GND			0V	○ ————————————————————————————————————	接地端子。
14 12 9 15 13 10	OUTA2 OUTB2 OUTC2 OUTA1 OUTB1 OUTC1			0.9V 0.95V	14pin 12pin 9pin 15pin 10pin 1777	信号出力端子。 出力信号レベルは(0.9+2×入力電圧) [V]になります。 9, 12, 14pinはサグ補正用端子です。 10, 13, 15pinを0.2V以下にすると保護 回路が働きパワーセーブモードとなり ます。
16	Vcc			5.0V	O Voc	電源端子。

### ●**電気的特性** (特に指定のない限り Ta=25°C, Vcc=5V)

Parameter	Symbol	Min.	Тур.	Max.	Unit	Conditions
回路電流	Icc	11.4	22.8	34.2	mA	無信号時
最大出力レベル	Vом	2.6	3.0	-	V <sub>P-P</sub>	f=1kHz, THD=1%
電圧利得	G۷	5.5	6.0	6.5	dB	f=4.43MHz, 1V <sub>P-P</sub>
周波数特性	Gf	-1.0	0.0	1.0	dB	f=7MHz/1MHz, 1V <sub>P-P</sub>
ミュート減衰量	Мт	-	-60	-	dB	f=4.43MHz, 1VP-P
ミュート切換レベル"H"	VTHH	3.5	-	Vcc	V	-
ミュート切換レベル"L"	VTHL	0	-	1.0	V	-

### ●**設計保証項目**(特に指定のない限り Ta=25°C, Vcc=5V)

Parameter	Symbol	Min.	Тур.	Max.	Unit	Conditions
微分利得	DG	-	0.5	1.5	%	1Vpp標準ステアケース信号
微分位相	DP	-	0.5	1.5	deg	1VPP標準ステアケース信号
チャンネル間クロストーク	Ст	-	-60	-55	dB	f=4.43MHz, 1VP-P
チャンネル間電圧利得差	ΔGv	-0.5	0.0	0.5	dB	f=4.43MHz, 1V <sub>P-P</sub>

### ●測定回路図

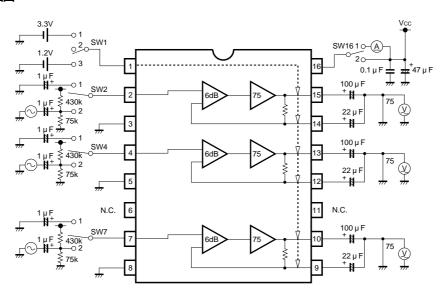


Fig.1

#### 測定条件設定表

Par	Symbol		測定方法					
		SW1	SW2	SW4	SW7	SW16	1	
回路電流		Icc	2	1	1	1	1	注1
	OUTA	Voм1	3	2	1	1	2	
最大出力レベル	OUTB	Vom2	3	1	2	1	2	注2
	OUTC	Vомз	3	1	1	2	2	
	OUTA	Gv1	3	2	1	1	2	注3
電圧利得	OUTB	G <sub>V2</sub>	3	1	2	1	2	
	OUTC	Gvз	3	1	1	2	2	
	OUTA	GF1	3	2	1	1	2	注4
周波数特性	OUTB	GF2	3	1	2	1	2	
	OUTC	GF3	3	1	1	2	2	
	OUTA→OUTB	C <sub>T1</sub>	3	2	1	1	2	
	OUTA→OUTC	CT2	3	2	1	1	2	
チャンネル間	OUTB→OUTA	Стз	3	1	2	1	2	注5
クロストーク	OUTB→OUTC	CT4	3	1	2	1	2	
	OUTC→OUTA	Ст5	3	1	1	2	2	
	OUTC→OUTB	Ст6	3	1	1	2	2	
	OUTA	M <sub>T1</sub>	1	2	1	1	2	
ミュート減衰量	OUTB	MT2	1	1	2	1	2	注6
	OUTC	Мтз	1	1	1	2	2	

<sup>\*</sup>ミュート切換レベルは、以上の測定を H=3.3V, L=1.2V で行うことにより代用する。

電圧利得 Gv=20LOG(Va/Vn)[dB]

注4 入力に、f=7MHz 1Vpp, f=1MHz 1Vppの正弦波をそれぞれ加えたときの出力 Vo7, Vo1[Vpp]を測定する。 周波数特性 Gf=20LOG(Vo7/Vo1)[dB]

注 5 入力に、f=4.43MHz 1Vppの正弦波をそれぞれ加えたときの出力 Vo[Vpp]を測定する。 チャンネル間クロストーク Cr=20LOG(Vo/Vn)[dB]

注 6 入力に、f=4.43MHz 1Vppの正弦波をそれぞれ加えたときの出力 Vo[Vpp]を測定する。この時、ミュート減衰量 Mr は Mr=20LOG(Vo/ Vp)[dB]

注1 無信号時の回路電流を測定する。

注2 入力に、f=1kHz の正弦波を加え、出力の歪率が1%になるように入力レベルを調整する。その時の出力電圧を最大出力レベルVow[Vpe]とする。

注3 入力に、f=4.43MHz 1Vppの正弦波をそれぞれ加えたときの出力 Vo[Vpp]を測定する。

# ●応用例

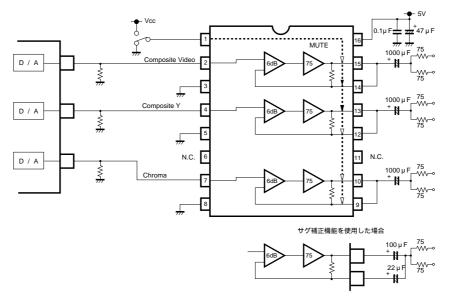


Fig.2

### ●外形寸法図 (Unit:mm)

